

ビキニデーとは

近年、ビキニデーについて新聞、テレビで報道されることが少なくなりました。私たちは平和について考えることで、ビキニデーを学習して知っていくことも大切です。今回このページで原水協に資料をいただき、またその学習会の案内をいただいたので紹介したいと思います。もう一度ビキニデーについてみんなで考えていきましょう。



1954年3月1日未明、アメリカは太平洋ビキニ環礁において広島型原爆の約1000倍の威力をもつ水爆実験(ブラボー)をおこないました。この核実験によって、マーシャル諸島の人びとや多くの日本漁船などが被災しました。

焼津のマグロはえ縄漁船「第五福龍丸」は、アメリカ政府の指定した危険区域外で作業中であつたにもかかわらず、“死の灰”を浴び、23人の乗組員全員が急性放射能症にかかり、無線長の久保山愛吉さん(当時40歳)は「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」と言い残してその年の9月に亡くなりました。

この3・1ビキニ事件は、日本国民に大きな衝撃をあたえ、広島・長崎をくりかえさせるなど、全国に原水爆禁止の声がまきおこりました。3千数百万の原水爆禁止署名が集められ、翌55年8月に第1回原水爆禁止世界大会が開催されました。原水爆禁止日本協議会(日本原水協)はその年の9月に結成されました。

以来、58年間、日本の原水爆禁止運動は、核戦争阻止、核兵器廃絶、被爆者援護・連帯を一貫してかかげ、世界諸国民や非核国政府と連帯して、世論と運動をひろげてきました。いまや核兵器廃絶は世界の大きな流れに発展しています。

3・1ビキニデー集会は、この久保山さんの遺志をひき継ぎ、原水爆禁止運動をになう全国の運動と静岡県の実行委員会が共催してきた伝統ある行事です。ビキニデー集会では、核兵器廃絶を求める署名の推進、被爆者とビキニ水爆実験被災者の連帯・交流を深めます。さらに8月の原水爆禁止世界大会にむけて内外での広範な共同を呼びかける場となるでしょう。

このビキニデーがなぜ行われるのか? ビキニデーに参加予定されている皆さんへ
事前学習として、3回のDVD等の上映会を行います。

第1回 2月11日10時～「3000万の署名大国を揺るがす」第五福龍丸が伝えた核の恐怖

第2回 2月15日(日)14時～「原爆稲穂 長崎50年目の稔り」

第3回 2月23日(月祝)14時～「水爆実験60年目の真実」

～ヒロシマが迫る“埋もれた被ばく”～「ばらの祈り」～ビキニ水爆被災70年企画～

場所：大阪原水協会議室

主催：大阪原水協 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210 TEL 06-6765-2552